

最終更新日: 2018年3月2日

「スッキリわかる複素関数論」(第5刷) 正誤表

	誤	正
p.24, 定理 1.3	$\ z - w \leq z + w \leq z + w $	$\ z - w \leq z \pm w \leq z + w $
p. 25, 定理 1.3(6) に追記	$\ z - w \leq z + w $ が成り立つ .	$\ z - w \leq z + w $ が成り立つ . さらに, この不等式と (1.9) において w を $-w$ とすれば, $\ z - w \leq z - w \leq z + w $ を得る .
p.238, 例 6.8	... の特異点の種類を求めよ の 孤立 特異点の種類を求めよ .
p.239, 解答の最初	$f(z)$ の特異点は $z = 1$ と $z = 2$ であり ,	$f(z)$ の 孤立 特異点は $z = 1$ と $z = 2$ であり ,
p.243, 演習問題 6.8	... カッコ内の特異点の種類を求めよ カッコ内の 孤立 特異点の種類を求めよ .
p.244, 例 6.10	... 特異点の種類を調べよ 孤立 特異点の種類を調べよ .
p.256, 定理 7.2	また , 点 a が関数 $f(z)$ の k 位の極であれば ,	また , 点 a が関数 $f(z)$ の k 位の極 ($k \geq 2$) であれば ,
p.325, 演習問題 7.2(3) の解答の ' を削除	(3) $\frac{e^3 - 6}{27} \pi i$	(3) $\frac{e^3 - 6}{27} \pi i$